

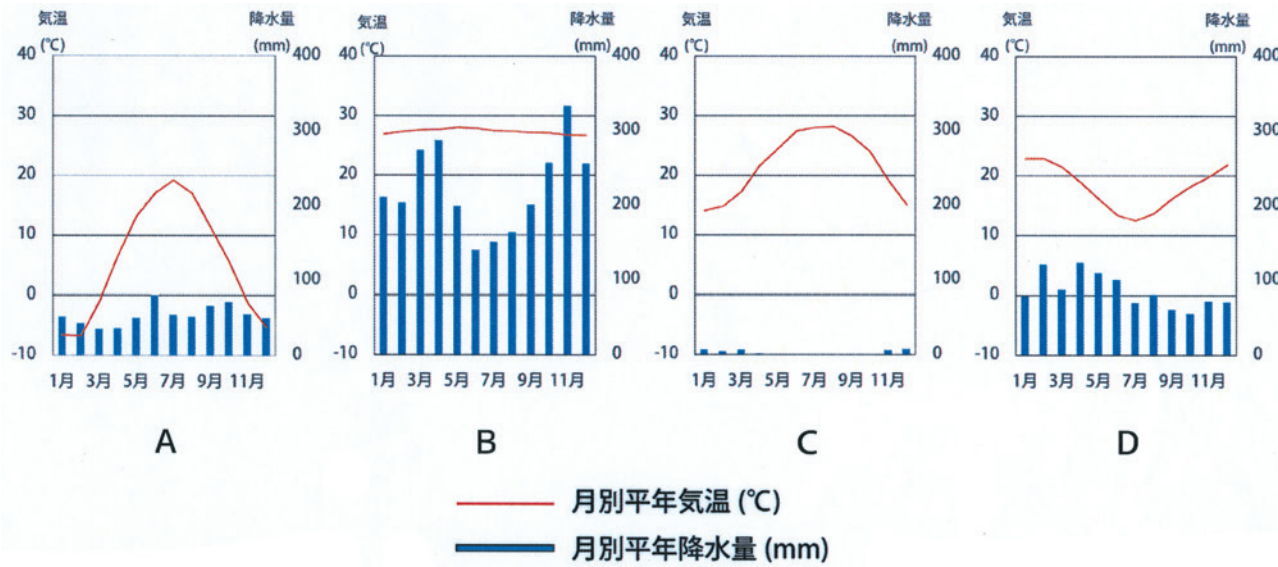
地図地理クイズ!

クイズ
一般

今回は、第21回地図地理検定の問題からの出題です。

問 雨温図とは、月別の平均気温と平均降水量が1つのグラフの中に示されており、気候特性がよく分かるグラフです。下のグラフA～Dは、カイロ、クアラルンプール、モスクワ、シドニーの4都市の雨温図です。グラフA～Dの雨温図と、それぞれにあてはまる都市の組み合わせは、どれですか。下の①～④のうちから1つ選びなさい。

- ① A:クアラルンプール B:モスクワ C:シドニー D:カイロ
- ② A:シドニー B:カイロ C:クアラルンプール D:モスクワ
- ③ A:モスクワ B:クアラルンプール C:カイロ D:シドニー
- ④ A:カイロ B:シドニー C:モスクワ D:クアラルンプール



(平成24年版 理科年表より作成)

【解説】正答率95.5%
 Aは、年間を通して降水量はあまり少なく、気温は7月に最も高く、年間の気温差が大きい、大陸性の気候だとわかります。Bは、年間を通して雨が多い、気温も一定で高温多湿な気候だとわかります。Cは、年間を通して雨がほとんど降り、気温は3～11月に高いことから北半球の砂漠気候だとわかります。Dは、気温が7月に低いため、南半球だとわかります。これらをもとに考えると、Aがモスクワ、Bがクアラルンプール、Cがカイロ、Dがシドニーだとわかります。

第22回 地図地理検定のご案内

- (1) 試験日 :2014(平成26)年11月23日(日)
- (2) 試験時間/問題数
 地図地理検定(一般) :13:30~14:20・4択形式25問・100点満点
 地図地理検定(専門) :15:00~16:00・4択形式25問50点、記述式10問程度・50点、100点満点
- (3) 実施都市及び会場 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受験資格 どなたでも受験できます。年齢等、一切の制限はございません。



地図地理検定

受験料

リピーター割引、学生・生徒割引、併願割引があります。

	地図地理検定(一般)	地図地理検定(専門)	一般・専門の併願
基本受験料	3,000円	4,000円	5,000円
リピーター割* 学割**	2,000円	3,000円	4,000円

*1 リピーター割は、第20回または第21回を受験された方。
 *2 学割は大学院生以下。中学生以上は身分証(学生証・生徒手帳等)、小学生以下は年齢を確認できる物[保険証等(コピー可)]を、検定当日に提示。
 *3 団体申込特典があります。詳しくは地図地理検定ホームページをご覧ください。

Japan Geographic Data Center
 公益財団法人
 国土地理協会
 '14 Autumn. 秋号
News Letter
 地名データベースなら 国土地理へ TEL 03-3433-1561 FAX 03-3459-1034 http://www.kokudo.or.jp

全国の人口は、1億2,843万8,348人

● うち日本人住民は1億2,643万4,964人、●
 外国人住民は200万3,384人

※日本人住民は、平成21年をピークに5年連続で減少

6月25日に総務省が発表した、住民基本台帳に基づく平成26年1月1日現在の人口は1億2,843万8,348人でした。日本人住民は調査開始(昭和43年)以来、平成18年に初めて減少し、平成20年、21年と増加しましたが、平成22年から5年連続で減少しています。外国人住民も前年より減少しています(外国人住民の割合は1.56%となっています。)

※調査精度の向上等を勘案し、今回調査から調査期日(期間)が変更になっています。調査期日は3月31日現在から1月1日現在に、人口動態(住民票の記載及び削除の数)の調査期間は4月1日から翌年3月31日までを1月1日から同年12月31日までに変更になりました。

総計に占める外国人住民の割合の大きい都道府県、小さい都道府県

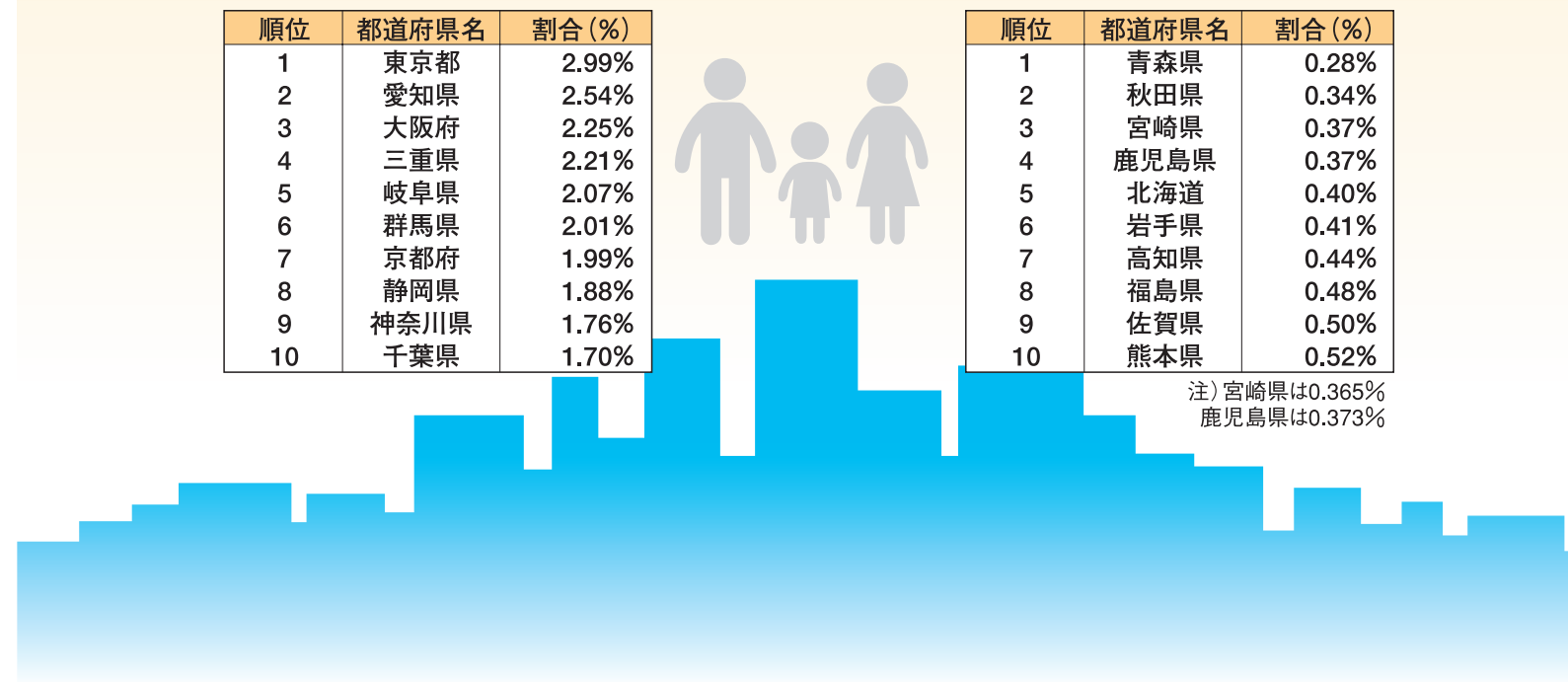
割合の大きい都道府県

順位	都道府県名	割合(%)
1	東京都	2.99%
2	愛知県	2.54%
3	大阪府	2.25%
4	三重県	2.21%
5	岐阜県	2.07%
6	群馬県	2.01%
7	京都府	1.99%
8	静岡県	1.88%
9	神奈川県	1.76%
10	千葉県	1.70%

割合の小さい都道府県

順位	都道府県名	割合(%)
1	青森県	0.28%
2	秋田県	0.34%
3	宮崎県	0.37%
4	鹿児島県	0.37%
5	北海道	0.40%
6	岩手県	0.41%
7	高知県	0.44%
8	福島県	0.48%
9	佐賀県	0.50%
10	熊本県	0.52%

注) 宮崎県は0.365%
 鹿児島県は0.373%



市町村別の人口

- 市区の中で人口(総計)が多いのは、横浜市(371万4,200人)、大阪市(266万7,830人)、名古屋市(225万4,891人)などの順となっています。人口が1万人未満の市区は3市で、歌志内市(4,033人)、三笠市(9,699人)、夕張市(9,801人)となっています。
- 5万人超えの町村は4町で、府中町/広島県(5万1,567人)、富谷町/宮城県(5万1,138人)、東浦町/愛知県(5万273人)、那珂川町/福岡県(5万30人)となっています。
- 市区町村の中で外国人住民が10万人を超えるのは大阪市のみです。

年齢階級別人口

- 全国人口を年少人口(15歳未満)生産年齢人口(15歳以上65歳未満)及び老年人口(65歳以上)の3区分に分けてみると、下記の表のようになります(日本人住民)。
- 日本人住民において、年少人口は調査開始以降(平成6年)毎年減少し、生産年齢人口は平成7年を除き毎年減少し、老年人口は毎年増加しています。

市区の人口【総計】

人口の多い市区【総計】

順位	市区名	人口(人)
1	横浜市(神奈川県)	3,714,200
2	大阪市(大阪府)	2,667,830
3	名古屋市(愛知県)	2,254,891
4	札幌市(北海道)	1,930,496
5	神戸市(兵庫県)	1,553,789
6	福岡市(福岡県)	1,474,326
7	川崎市(神奈川県)	1,433,765
8	京都市(京都府)	1,420,719
9	さいたま市(埼玉県)	1,253,582
10	広島市(広島県)	1,186,928
11	仙台市(宮城県)	1,049,578
12	北九州市(福岡県)	981,891
13	千葉市(千葉県)	960,051
14	世田谷区(東京都)	867,552
15	堺市(大阪府)	849,107
16	浜松市(静岡県)	812,286
17	新潟市(新潟県)	806,525
18	熊本市(熊本県)	734,287
19	静岡市(静岡県)	718,774
20	相模原市(神奈川県)	713,351

人口の少ない市区【総計】

順位	市区名	人口(人)
1	歌志内市(北海道)	4,033
2	三笠市(北海道)	9,699
3	夕張市(北海道)	9,801
4	赤平市(北海道)	11,711
5	室戸市(高知県)	15,342
6	土佐清水市(高知県)	15,526
7	芦別市(北海道)	15,870
8	珠洲市(石川県)	16,283
9	西之表市(鹿児島県)	16,647
10	垂水市(鹿児島県)	16,702
11	尾花沢市(山形県)	18,240
12	砂川市(北海道)	18,444
13	熊野市(三重県)	18,628
14	安芸市(高知県)	19,028
15	津久見市(大分県)	19,700
16	宮津市(京都府)	19,808
17	勝浦市(千葉県)	19,954
18	尾鷲市(三重県)	19,978
19	串間市(宮崎県)	20,398
20	陸前高田市(岩手県)	20,565

●年少人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【日本人住民】●

年少人口の割合が大きい都道府県

順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	17.62
2	滋賀県	14.93
3	愛知県	14.26
4	佐賀県	14.20
5	福岡県	13.75
6	宮崎県	13.73
7	福井県	13.70
8	熊本県	13.66
9	鹿児島県	13.63
10	広島県	13.59

年少人口の割合が小さい都道府県

順位	都道府県	割合(%)
1	秋田県	10.81
2	北海道	11.67
3	高知県	11.80
4	青森県	11.83
5	東京都	11.84
6	徳島県	12.09
7	岩手県	12.22
8	新潟県	12.30
9	和歌山県	12.32
10	山形県	12.41

町村の人口【統計】

人口の多い町村【統計】

順位	町村名	人口(人)
1	府中町(広島県)	51,567
2	富谷町(宮城県)	51,138
3	東浦町(愛知県)	50,273
4	那珂川町(福岡県)	50,030
5	寒川町(神奈川県)	47,971
6	阿見町(茨城県)	47,261
7	杉戸町(埼玉県)	46,582
8	志免町(福岡県)	45,700
9	音更町(北海道)	45,485
10	粕屋町(福岡県)	44,636
11	熊取町(大阪府)	44,450
12	伊奈町(埼玉県)	43,892
13	武豊町(愛知県)	42,808
14	長与町(長崎県)	42,508
15	長泉町(静岡県)	42,323
16	東郷町(愛知県)	42,289
17	愛川町(神奈川県)	41,933
18	菰野町(三重県)	41,484
19	読谷村(沖縄県)	41,051
20	大泉町(群馬県)	40,759

人口の少ない町村【統計】

順位	町村名	人口(人)
1	青ヶ島村(東京都)	170
2	利島村(東京都)	306
3	御蔵島村(東京都)	315
4	粟島浦村(新潟県)	345
5	三島村(鹿児島県)	356
6	渡名喜村(沖縄県)	403
7	大川村(高知県)	439
8	北山村(和歌山県)	471
9	野迫川村(奈良県)	479
10	平谷村(長野県)	487
11	北大東村(沖縄県)	558
12	知夫村(島根県)	597
13	檜枝岐村(福島県)	600
14	上北山村(奈良県)	616
15	売木村(長野県)	620
16	丹波山村(山梨県)	625
17	十島村(鹿児島県)	636
18	渡嘉敷村(沖縄県)	705
19	小菅村(山梨県)	739
20	粟国村(沖縄県)	743

●生産年齢人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【日本人住民】●

生産年齢人口の割合が大きい都道府県

順位	都道府県	割合(%)
1	東京都	66.09
2	神奈川県	64.38
3	沖縄県	64.28
4	埼玉県	63.88
5	宮城県	63.21
6	千葉県	63.18
7	愛知県	63.10
8	栃木県	62.62
9	滋賀県	62.43
10	大阪府	62.39

生産年齢人口の割合が小さい都道府県

順位	都道府県	割合(%)
1	島根県	56.65
2	高知県	57.47
3	山口県	57.58
4	秋田県	57.96
5	長野県	58.54
6	大分県	58.70
7	山形県	58.71
8	鹿児島県	58.77
9	富山県	58.89
10	宮崎県	58.90

●老年人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【日本人住民】●

老年人口の割合が大きい都道府県

順位	都道府県	割合(%)
1	秋田県	31.23
2	高知県	30.74
3	島根県	30.62
4	山口県	29.96
5	山形県	28.88
6	徳島県	28.65
7	和歌山県	28.64
8	富山県	28.58
9	岩手県	28.56
10	愛媛県	28.42

老年人口の割合が小さい都道府県

順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	18.10
2	東京都	22.07
3	神奈川県	22.51
4	愛知県	22.63
5	滋賀県	22.64
6	埼玉県	23.02
7	宮城県	22.79
8	千葉県	23.86
9	福岡県	23.95
10	栃木県	24.20

市区町村の人口【外国人住民】

人口の多い市区【外国人住民】

順位	市区名	人口(人)
1	大阪市(大阪府)	116,348
2	横浜市(神奈川県)	75,283
3	名古屋市(愛知県)	64,372
4	神戸市(兵庫県)	42,460
5	京都市(京都府)	40,323
6	新宿区(東京都)	34,121
7	川崎市(神奈川県)	29,342
8	福岡市(福岡県)	26,989
9	江戸川区(東京都)	23,496
10	川口市(埼玉県)	22,958
11	足立区(東京都)	22,516
12	浜松市(静岡県)	21,327
13	江東区(東京都)	21,234
14	千葉市(千葉県)	20,356
15	豊島区(東京都)	19,533
16	大田区(東京都)	18,545
17	港区(東京都)	18,104
18	さいたま市(埼玉県)	17,503
19	板橋区(東京都)	16,714
20	東大阪市(大阪府)	16,699

人口の多い町村【外国人住民】

順位	町村名	人口(人)
1	大泉町(群馬県)	6,050
2	愛川町(神奈川県)	2,099
3	東浦町(愛知県)	1,197
4	上里町(埼玉県)	983
5	蟹江町(愛知県)	977
6	清水町(静岡県)	947
7	吉田町(静岡県)	942
8	八千代町(茨城県)	920
9	垂井町(岐阜県)	856
10	東郷町(愛知県)	823
11	菰野町(三重県)	779
12	海田町(広島県)	733
13	愛荘町(滋賀県)	722
14	武豊町(愛知県)	715
15	昭和町(山梨県)	703
16	幸田町(愛知県)	690
17	倶知安町(北海道)	676
18	大洗町(茨城県)	670
19	苅田町(福岡県)	669
20	境町(茨城県)	651

市区の人口【総計】

町村の人口【統計】

市区町村の人口【外国人】

このほか、都道府県別自然増加数や社会増加数、年齢階級別人口や階級別の男女構成比、都道府県別の階級別人口などの詳細については、弊会発行の『住民基本台帳人口要覧』(平成26年版)をご覧ください。